

| | | | |
|-----------|--|-------|-------|
| 講義名 | 特別クラス（前期：木2 後期：木3） | | |
| 科目区分 | 特別研究 | | |
| 担当教員 | 八木 雅史 / 小塚 匡文 | | |
| 開講期・曜日・時限 | 通年 木曜日 2時限 | | |
| | 2017年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2017年度 人間社会学部 観光学科 / 2017年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2017年度 経済学部 経済情報学科 / 2017年度 経済学部 経済学科 / 2017年度 商学部 マーケティング学科 / 2017年度 商学部 経営学科 / 2016年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2016年度 人間社会学部 観光学科 / 2016年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2016年度 経済学部 経済情報学科 / 2016年度 経済学部 経済学科 / | | |
| 履修開始年次 | 3年生 | 単位数 | 4 |
| | | 講義コード | 42093 |

主題と概要

【前期】
『法治国家』においてはすべての公権力の行使（国レベルでも地方レベルでも）が、法律の根拠と法律の定めた手続きに従ってのみ行われなければならない。そして、その公権力の行使を実際の現場で担当するのが個々の公務員である以上、公務員になるうとする者は、みずから従うべき法律が何たるかを知らなければならない。そのため各種公務員試験においては、法律に関する基本的知識を問う課題が頻出する。
そこで当授業においては、公務員試験において頻度の高い憲法、行政法、民法の三つの法律分野について、過去の試験問題などを参考にしつつ、基礎的知識の習得とその根本的理解の充実に目指すものである。

【後期】
公務員試験を有利に進めていくため、ミクロ経済学・マクロ経済学の問題演習を行う。また、公務員試験を突破するだけではなく、皆さんには経済学の考え方を身につけた社会人になってもらいたいと考えている。以上のことを念頭に置き、「特別クラス」を含めた複数の講義でこれまでに修得した経済学の知識を定着させることを目指す。

到達目標

公務員として持っておくべき法的素養および経済学の素養を身につけていること。

提出課題

【後期】
毎回、宿題を課します。また、確認テストを2回実施します。

評価の基準

【前期】
授業中に数度レポート課題を出すので、提出されたレポートの評価および平常点（毎回授業への積極的な参加の程度）による。

【後期】
宿題の取り組み状況、出席状況、確認テストをもとに評価する。

【履修上の注意（前後期共通）】

- ・講義中に著しく秩序を乱す学生には退学を命じます。マナーを守って受講して下さい。
- ・履修者の皆さんの主体的な取り組みが重要となります。積極的な参加を期待します。
- ・各期で正当な理由のない欠席の回数が5回を超えた場合は、放棄したとみなしてその期の分の点数を0点とします。

履修にあたっての注意・助言他

この授業は、前期と後期で担当教員が変わります。
前期担当：八木雅史
後期担当：小塚匡文
また、開講曜日・時限もかわりますので、ご注意ください。

【前期】
毎回授業には「六法」（小型のものでよい。出版社不問。）を持参すること。また授業には、憲法・行政法・民法のレジュメを準備しますが、各自で手ごろな受験用テキストを購入してあらかじめ勉強しておくことが必要です。

【後期】
経済学にかんする問題演習が中心となるので、これまでに学んだミクロ経済学・マクロ経済学の内容を復習しておくこと。また、宿題は必ずやっておくこと。

教科書

.使用しない。

プリント資料及び参考文献

【前期】
授業中に配付する憲法・行政法・民法の各レジュメを使って授業を進める。

【後期】
事前に配布する経済学の問題（主に過去の公務員試験の問題）を宿題として履修者に課し、授業ではそれらの解答を発表してもらう。また、宿題とは別の問題を授業中に題し、問題演習を行う。

授業計画

- 【前期】
- 1 憲法（天皇制と国民主権）
 - 2 憲法（基本的人権）
 - 3 憲法（基本的人権）
 - 4 憲法（統治機構）
 - 5 憲法（統治機構）
 - 6行政法（総論・行政組織）
 - 7行政法（作用法）
 - 8行政法（作用法、国賠法）
 - 9行政法（不服審査・行政訴訟）
 - 10 民法（総則）
 - 11 民法（物権）
 - 12 民法（債権総論）
 - 13 民法（債権各論）
 - 14 民法（親族）
 - 15 民法（相続）
- 【後期】
- | | | |
|------------------|------------------|-----------------|
| 16 需要と供給 | 17 消費の理論(1) | 18 消費の理論(2) |
| 19 企業の理論(1) | 20 企業の理論(2) | 21 余剰(1) |
| 22 余剰(2) | 23 市場の失敗 | 24 GDPについて(1) |
| 25 GDPについて(2) | 26 ケインズ理論の基礎(1) | 27 ケインズ理論の基礎(2) |
| 28 IS-LM分析の基礎(1) | 29 IS-LM分析の基礎(2) | 30 貿易・海外投資の基礎 |

予習・復習

【前期】
各自でも問題集を入手して普段から試験勉強しておくこと。

【後期】
<予習>

備考